

令和7年度 学校評価について

【本年度の学校評価についての結果及び考察】

※ アンケートは、令和7年11月に、児童・保護者を対象に実施。数値は、今年度のアンケート結果の肯定的意見。()内は昨年度の数値。

1 学校生活

- 児童⑳ 「学校が楽しい、楽しんで行っている」78.7% (80.9%)
- 児童㉑ 「友達と仲よく生活している」93.2% (92.2%)
- 保護者㉒ 「児童は、楽しんで学校に行っている」93.7% (91.3%)

友達と仲よく生活していると答えた児童が多いものの、「学校が楽しい」という肯定的な児童が少し減っています。児童たちが安心して楽しいと思える学校、保護者の方が児童を安心して通わせることができる学校づくりにさらに取り組んでいきます。

2 人権意識と自己有用感の育成

- 「自己有用感」 ○ 児童⑨ 「自分には、よいところがある」75.0% (81.5%)
- 児童⑩ 「自分は人の役に立つことができる」75.8% (74.5%)
- 児童⑪ 「先生は、勉強や運動、生活でがんばったときほめてくれる」87.9% (89.4%)
- 保護者⑦ 「子どもは、自分のいいところを理解している」77.1% (74.6%)
- 保護者⑧ 「子どもがよいことをしたときは、積極的に褒めている」96.9% (95.2%)

自己有用感の育成について、学校・家庭とも、よいところを積極的にほめるようにしていることが分かります。しかし、「自分にはよいところがある」の項目が、児童で昨年より下がっています。各学級でよいところを探したり、学校全体で「ありがとうカード」の掲示をするなどの実践を継続するとともに、集会活動、行事、異学年交流など自主的自治的な活動を通して、児童の自己有用感を高めていきます。

- 「人権意識」 ○ 児童㉔ 「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」94.6% (96.4%)
- 「仲間づくり」 ○ 保護者⑭ 「児童は、人のことを大切に友だちと仲よくしている」89.8% (94.5%)
- 児童㉕ 「先生は、困ったり、悩んだりしたときに、相談にのる」87.9% (85.1%)
- 保護者⑳ 「学校はいじめや生徒指導の問題に素早く対応してくれる」85.1% (79.4%)

児童の人権意識については100%を目指して、さらに人権教育を継続していく必要があります。児童の実態や課題に応じ、自己肯定感の高まりを基盤にした仲間づくりを行ってきました。児童や保護者の声に耳を傾け、情報共有、組織的な早期対応・解決にも努めていきます。今後も児童が確かな人権感覚と実践力と身に付けられるよう、各学年で、人権学習や日頃の指導を継続していきます。

3 基本的な生活習慣の育成

- 「あいさつ」 ○ 児童⑯ 「先生、友だち、近所の人に進んであいさつをしている」82.6% (78.7%)
- 保護者⑬ 「児童は進んであいさつをしている」68.5% (65.9%)
- 「規範意識」 ○ 児童㉖ 「学校のきまりを守っている」87.9% (81.6%)
- 保護者⑫ 「児童はルールを守る意識が育っている」89.0% (89.7%)

児童主体の「あいさつ運動」や、幼小中一貫教育であいさつを大切にすることを継続して行ってきました。今後も、自分から元気に気持ちのよいあいさつができるよう、取組を継続していきます。

児童の「学校のきまりを守っている」が昨年度より上がっています。規範意識の向上は、今年度、課題として学校全体で取り組んできました。課題や成果についても、学校通信等を通じて家庭での協力もお願いしました。今後も、学校・家庭と協力して、子どもたちの規範意識の向上に努めていきます。

- 「生活習慣、生活リズム」 ○ 児童⑮ 「朝は、決まった時間に起きている」75.8% (70.9%)
- 児童⑭ 「身の回りの整頓は、自分でできている」70.4% (68.8%)
- 保護者⑪ 「子どもは、自分の身の周りのことを自分でしている」79.5% (71.5%)
- 「体力づくり」 ○ 児童④ 「進んで運動し、体力づくりをしている」78.8% (78.8%)
- 保護者④ 「学校は、児童の体力づくりに熱心に取り組んでいる」76.4% (81.8%)

生活習慣、生活リズムの項目は、昨年度よりも伸びています。今後も家庭と連携を図りながら取り組んでいきます。体力づくりについては、元気っ子タイム、体操発表会、水泳・陸上記録会の練習や外遊びを奨励しています。今後も、様々な運動を楽しみ、達成感や充実感をもてるよう、取組を継続していきます。

4 学力の向上

- 「学校での学習」
- 児童① 「先生は、毎日の授業を分かりやすく教えてくれる」96.2% (95.0%)
 - 児童② 「漢字や計算の力がついてきている」81.1% (85.8%)
 - 児童③ 「テストでは、思い通りの点数が取れている」65.1% (68.8%)
 - 児童⑤ 「授業中、人の話を集中して聞いている」78.0% (78.7%)
 - 児童⑦ 「友達と協力し、教え合いながら学習している」85.6% (73.8%)
 - 児童⑧ 「テレビやタブレットを使った学習が好きである」78.8% (85.8%)
 - 保護者① 「児童は、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる」70.1% (69.9%)
 - 保護者③ 「学校は基礎的な学力定着に熱心に取り組んでいる」78.7% (84.9%)
 - 保護者⑤ 「学校は児童の学習規律の定着に熱心に取り組んでいる」84.2% (84.1%)

学習規律の確立のもと、学力向上に取り組んできました。タブレットを使用したAIドリルなども活用しながら進めてきました。「先生は、毎日の授業を分かりやすく教えてくれる」が昨年よりも少しのびていますが、子どもの実感の結果とは開きがあります。「友達と協力し、教え合いながら学習している」が、昨年より大きく伸びています。ペアやグループによる学習を適切に取り入れたことが協働的な学びへとつながったと思われます。学力向上について、家庭と連携しながら、日々の地道な取組を継続していきます。

- 「家庭での学習」
- 児童⑥ 「宿題をきちんとしている。」87.9% (90.1%)
 - 保護者⑥ 「児童は、家庭学習(宿題)をきちんとしている」85.9% (86.6%)

児童の意識として、真面目に宿題をしている意識がありますが、昨年度より少し下がっています。児童の意欲を高め、自主的な家庭学習になるよう工夫を行っていきます。

5 主体性・粘り強さ

- 児童⑬ 「自分の判断で、行動するようにしている」78.0% (71.7%)
- 児童⑰ 「学級の係や当番の仕事、掃除などに積極的に取り組んでいる」82.6% (83.7%)
- 児童⑱ 「学級・学校の一員として、考えて行動している」78.8% (70.7%)
- 児童⑫ 「物事がうまくいかない時、ねばり強くがんばり続けることができる」72.7% (80.1%)
- 保護者⑨ 「子どもは何事にも粘り強く取り組む」54.3% (51.6%)
- 保護者⑩ 「子どもが粘り強く取り組むよう、家庭でも応援している」89% (85%)

児童の「主体性」に関する項目が、昨年に比べると、上がっています。今後も主体的な児童の育成をめざし、児童会活動等の主体的に取り組める活動を工夫していきます。「粘り強さ」については、学校・家庭とも、児童の頑張りをしっかり認め、児童の粘り強さがのびていくように支援していきます。

6 ふるさと

- 児童⑲ 「地域の行事などに参加している。」 75.8% (70.2%)
- 児童③ 「自分の住んでいる地域に愛着を持っている。」 90.8% (87.2%)
- 保護者⑳ 「子どもは、地域のお祭りや行事に積極的に参加している。」83.4% (77.8%)

積極的に地域に関心を持つ児童の割合が増えています。地域の方々のご協力もあり、継続的な地域学習も継続して行い、地域への関心を高められるような教育に取り組んでいきます。

【学校関係者評価委員会のご意見より】 ※学校運営協議会の皆様にも、ご意見をいただきました。

【児童⑨ 「自分には、よいところがある」75.0% (81.5%)】

【児童⑩ 「自分は人の役に立つことができる」75.8% (74.5%)】

自己有用感を育てていくために、自分が必要とされる場を多く経験させるとよいと思う。学校、家庭だけでなく、地域の中でも、いろいろな人とかわる中で、自分が役に立っている実感を得られる場もあるとよいと思う。

【児童⑳ 「本や新聞などをよく読んでいる」47.8% (50.7%)】

本を読んで知識を得る、考えるという習慣は、将来、大きくなって必ず子どもの役に立つと思われる。読書習慣を根付かせ、継続させることをお願いしたい。

【学力の向上について】

地域の人や身近な人とかわる中で、「自分はこういう人になりたい」と、自分の目標や将来像を考え、学習意欲や学ぶ意味を考えると、学力の向上につながっていくのではないかと考える。地域の中でも子どもたちが学んでいけるとよいと思う。

以上、いただいたご意見をもとに、よかった結果がさらに伸びるよう、課題が改善できるよう努めます。今後とも、子どもたちが安心して楽しいと思える学校、保護者の皆様が、子どもを安心して通わせられる学校づくりに、教職員一同邁進してまいります。ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。